

札幌市学校結核対策委員会規則を次のように制定する。

平成26年（2014年）11月18日

札幌市教育委員会

委員長 山中善夫

教育委員会規則第28号

札幌市学校結核対策委員会規則

札幌市学校結核対策委員会規則（平成26年教育委員会規則第28号）を次のように制定する。

（趣旨）

第1条 この規則は、札幌市附属機関設置条例（平成26年条例第43号）第7条の規定に基づき、札幌市学校結核対策委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（組織）

第2条 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 学校医
- (3) 学校長
- (4) 養護教諭
- (5) その他教育委員会が適当と認める者

（委員長及び副委員長）

第3条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 委員長及び副委員長共に事故があるとき、又は欠けたときは、あらかじめ委員長の指

名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員長は、委員会の会議の議長となる。

3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。ただし、緊急その他やむを得ない理由があると委員長が認めたときは、3人以上の委員の出席をもって足りるものとする。

4 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第5条 部会は、委員長が指名する委員3人以上をもって組織する。

2 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によりこれを定める。

3 部会長は、部会を代表し、部会の事務を総理する。

4 部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長の指名する委員がその職務を代理する。

5 前条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中「委員会」とあるのは「部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と、同条第3項中「過半数」とあるのは、「過半数（委員3人をもって組織する部会にあつては、全員）」と、同項ただし書中「3人以上」とあるのは、「委員6人以上をもって組織する部会にあつては、3人以上」と読み替えるものとする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会事務局において行う。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 第2条第1項の規定にかかわらず、札幌市附属機関設置条例の施行の際現に従前の委員会に相当する合議体の委員長又は副委員長である者は、それぞれ同条例の施行の日に関し委員会の委員長又は副委員長として定められたものとみなす。